

2月定例会のあらまし

平成30年第1回定例会は1月29日から2月15日まで18日間の会期で開催し、報告1件、諮問7件、議案54件、発議案2件が提案されました。

一般質問には議員13名が登壇し、市長及び教育委員長等の考えをたてました。

議案審議では、30年度の奥州市一般会計予算や各特別会計予算、奥州市農業委員会委員等定数条例の制定をはじめとする条例の制定や一部改正等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

また、今定例会に提出された「ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願」は採択すべきものとし、議員発議による意見書を可決、関係機関に送付しました。



議

案

の

審

議

今定例会では、「奥州市農業委員会委員等定数条例の制定」をはじめとする条例の制定や一部改正、平成30年度の一般会計や各特別会計の予算等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

なお、今定例会に提出されていた「大岳高齢者生きがいセンター条例の廃止について」は、廃止に至る経過や理由が不明確だとして審議を委員会付託しましたが、市側は、この条例で定める「生きがい講座事業」については、地域の振興と講座利用者に配慮すべきものと判断し、本議案を撤回しました。

奥州市農業委員会委員等定数条例の制定

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会制度が改められたことから関係条例を制定するもので、市長が任命する農業委員会委員及び農業委員会が委嘱する農地利用最適化推進委員の定数を定めるものです。

農業委員会の委員の定数は24人、推進委員の定数は40人としています。

(施行期日) 公布の日

奥州市農業委員会委員候補者選考委員会条例の制定

奥州市農業委員会の委員の任命に関し、農業委員会等に関する法律第9条第1項の規定による推薦を受けた者、及び同項の規定による募集に応募した者のうちから当該委員の候補者を公平かつ適正に選考するため、奥州市農業委員会委員候補者選考委員会を設置するものです。

選考委員会は、委員7名以内をもって組織し、学識経験を有する者のうちから市長が委嘱することとしています。

(施行期日) 平成30年4月1日

奥州市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

議長が提出した市議会議員報酬の増額要望を踏まえ、県内他市における状況等を多角的に比較検討した結果、当該額を増額すること、並びに農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員の部会長が廃止され、及び農地利用最適化推進委員が設置されることから、これらの職に係る報酬月額を改めるため所要の改正をします。

議会の議員

・議長 44万7000円

(改正前39万9000円)

・副議長 38万6000円

(改正前34万5000円)

・議員 36万0000円

(改正前32万1000円)

(施行期日) 平成30年4月1日

農業委員会の委員

・部会長 廃止

(改正前3万5000円)

・農地利用最適化推進委員

3万0000円(新)

(施行期日) 平成30年7月20日

奥州市岩手競馬経営改善推進資金貸付基金条例の一部改正

この基金は、岩手県競馬組合の経営改善のために平成18年度に設置し、約82億円を貸し付けしているものです。

今般、岩手県競馬組合の28年度決算剰余金の確定に伴い、一部繰上償還として約1908万円が返済されたことから、一般会計への繰入を可能にするため、定額運用基金である当該基金の総額を減額変更するものです。なお、18年度決算が確定した19年度においても約1157万円が返済されており、今回、併せて変更するものです。

減額の内容

基金総額を82億1934万4763円

に減額(減額前82億5000万円)

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期が満了するため、候補者として推薦するものです。

安倍和文氏(新・水沢)

高橋芳子氏(再・水沢)

及川正宏氏(再・江刺)

佐藤清子氏(再・江刺)

仲川京子氏(再・前沢)

小野寺貢氏(再・胆沢)

菅原郁子氏(新・衣川)

固定資産評価審査委員会の委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の任期が満了するため、委員として選任するものです。

佐藤晃信氏(再・水沢)

菊池直喜氏(新・江刺)

千葉克巳氏(新・江刺)